



**茎数少なく、生育は遅れています。  
浅水管理で分けつを促進し、茎数確保を！**

### 1 6月10日現在の生育診断圃の生育状況

品種	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	残存アミノ酸 態窒素 (mg/100g乾土)
はえぬき 酒田市荻島 5/9移植	本年	28.6	381	7.1	40.2	7.8
	前年	29.8	418	7.1	40.4	6.7
	平年	30.6	411	6.9	40.4	7.2
	平年比	93	93	0.2	-0.2	+0.6
つや姫 酒田市漆曽根 5/11移植	本年	32.0	205	5.2	32.5	7.1
	前年	29.7	228	7.1	38.6	4.2
	平年	30.9	246	6.4	37.5	5.0
	平年比	104	83	-1.2	-5.0	+2.1
雪若丸 酒田市前川 5/9移植	本年	22.7	259	6.5	39.7	8.3
	前年	22.4	213	6.4	36.6	5.3
	平年	29.6	333	6.8	41.3	-
	平年比	77	78	-0.3	-1.6	-

6月に入ってから極端な低温少照となりました。生育診断圃の生育は、全般に平年より茎数が少なく、葉数の展開が遅れています。「つや姫」の茎数不足は葉数展開の遅れによるところが大きいですが、「雪若丸」は葉数の遅れを考慮しても茎数が平年に比べ少ない状況です。

同じ地区内、同じ移植時期でも、下位分けつが順調に発生して株が開帳している圃場、ようやく分けつが発生した圃場と、圃場間の生育にバラつきが生じています。生育量が少ない圃場では、苗質、植付深、水管理、田ワキへの対応等が適切だったかを今一度振り返りましょう。

### 2 今後の気象予報と水管理

1か月予報(仙台管区气象台・6月9日発表)によると、1週目(6月11~17日)の気温は平年より低い確率50%と予想されています。

**今の時期は有効茎を確保する重要な時期です。**日中は3cm程度の浅水管理(日中止水)を徹底し、地水温を高め、入水は夜間に行い、分けつの発生を促進しましょう。

本年は土壌還元(田ワキ)の発生は全般的に少ないとみていますが、田ワキによる生育停滞がみられる圃場では、水交換・夜間落水・田干しを行いましょう。

**「農作業事故防止」&「熱中症予防」で安全作業を  
トラクターからの転落による痛ましい事故が発生しました。  
走行時はシートベルトを必ず着用し、道幅の狭い道路はなるべく  
避けて走行しましょう。**